

2025年(令和7年)1月20日号【第364号】

BATPOST

よい会社をつくろう よい経営者になろう よい経営環境をつくろう

(一社)広島県中小企業家同友会 福山支部報

1

2025
January

謹
賀
新
年



表紙撮影 アトネック 宮池健太氏 (F)

Contents

| | |
|----------------|-----|
| 支部長挨拶 | P02 |
| 中同協環境経営委員会in福山 | P03 |
| 地区会だより | P03 |
| 部会だより | P09 |
| 委員会だより | P10 |
| 支部理事会報告 | P12 |
| 新会員紹介 | P13 |

県スローガン

Human First! ～新時代へ挑戦～

福山支部スローガン

私たちが創ります 私たちの学び舎を
～いまこそ主体的に動こう～



よい会社をつくろう よい経営者になろう よい経営環境をつくろう

(一社)広島県中小企業家同友会 福山支部報

発行責任者 広報委員長 春名 孝一郎

〒720-0066 福山市三之丸町8-16
福山ニューキャッスルホテル B1F
TEL 084-923-0286 FAX 084-923-0284
URL <https://www.hiroshima.doyu.jp>
e-mail fukuyama@hiroshima.doyu.jp

新年のご挨拶

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと存じます。また、日頃より福山支部の活動に対しまして温かいご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

2025年は、「不安定」「不確実」な状況がますます加速することが予想されます。中小企



福山支部長
(株)豊田工業所 豊田 克浩(D)

業にとっては多くの課題が山積する中ですが、このような時代だからこそ、私たち同友会の活動を通じて、互いに知恵を分かち合い、共に学び、共に成長する姿勢が一層求められています。

昨期より福山支部では「私たちで創ります 私たちの学び舎を」今こそ主体的に動こう」というテーマを掲げ、活動を展開しております。企業経営の安定

と発展を追求するだけでなく、地域社会の一員としてどのような貢献できるかを真摯に考え、行動していきたいと考えております。また、次世代を担う若手経営者の育成や、より多くの新しい仲間との出会いを通じて、支部の活性化を図ることも重要な使命であると認識しております。

今年も会員の皆様一人ひとりの力を結集し、支部としての団結力を強めながら、互いに助け合い、挑戦し続ける1年といたしましょう。皆様の企業やご家庭がさらなる発展を遂げるとともに、地域全体が明るい未来を築けるよう、私自身も支部長として全力で取り組む所存です。

結びに、本年が皆様にとって幸多き年となりますことを心よりお祈り申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

中同協環境経営委員会in福山

■日時：12月3日（火）～4日（水）
■会場：同友会事務局

■報告者：中同協環境経営委員長 赤津加奈美氏（大阪）
■参加者数25名



過日、福山事務局にて中同協の環境経営委員会（以下、中同協委員会）が開催されました。中同協委員会は、中同協の赤津委員長（大阪）をはじめとする全国の環境経営委員長他13名と事務局員6名、広島同友会からオブザーバー6名が集まって開催されました。

冒頭の各挨拶の中で、他県の環境経営委員会は委員数が少数でなかなか思うように活動ができていない中、福山支部は支部の環境経営委員会がきちんと稼働している珍しいケースだという気付きがありました。

今回、中同協委員会が福山の地で開催されたのは来年度の環境経営・地球環境交流会in広島の前哨戦という意味合いでしたが、上記の珍しい部分も少なからず影響があったように思います。

中同協委員会後は又来軒で懇親会があり、翌日には企業訪問バスツアーが行われ、イシケン（株）と（株）タテシシ広美社さんを見学させていただきました。

バスツアー参加費用は無料（事務局負担）で、年に一度はリアル委員会を開催してご当地企業見学をするらしく、中同協委員会は現地に足を運ぶ価値があるなあと感じました。

その事を広島事務局の橋本さんに話したら「県や中同協など、上に行けば行くほど学びやすい環境が整っているのだから外に出ることは大切」という納得の回答でした。

2日間、全国から集まった環境経営の有識者さんと行動を共にした事で、私自身気付きや学びもたくさんありましたし刺激にもなりました。そして、これら学んだことは今後の委員会活動に活かしていこうと思いました。

共に中同協委員会にオブザーバー参加をしてくださった福山支部の皆さん、企業見学をさせて頂いたイシケン（株）、石川地区会長と（株）タテシシ広美社、立石事務委員会会場を段取りしてくださった福山事務局の皆さん、ありがとうございました。



環境経営委員長
（株）タカハシ
高橋克直（I）

新会員ミニ報告&親睦例会

■日時：12月20日（金） ■報告者：2024年度A地区新会員の皆さん
■会場：星街グリル ■参加者数：23名



地区会だより

A地区会

A地区12月例会は、1年の締めくくりに今年A地区の新会員となられた皆さんによるミニ報告をしていただき、自己紹介、自社紹介及び現在の経営課題等を報告いただく例会でした。そして、その後は懇親会もセットの例会とし、新会員さんにももちろんのこと、普段なかなか参加できない会員さんにも参加していただきながら、食事を囲んで今年一年の良い締めくくりができたと思っています。

懇親会の席では新会員さんの報告内容を踏まえた先輩会員のフィードバックやアドバイス、業種別による会員さん同士の近況報告などで会場も盛り上がり、とても感じています。

参加された方々の感想からも「久しぶりに交流できた会員さんがいたことは良かった」や「普段の例会も同じぐらいの人数でできることが理想だ」など各自様々な感想がありました。

節目、節目にはこのような例会をおこなうことで、普段の例会や各グループ会の活動が更に盛り上がり、きつかけになればいいなと感じた例会でした。

本年も一年ありがとうございました。



ヨシケン
亀川 勲（A）

あの看板の男が語る 娘婿から養子縁組、3代目社長へ ～大量退職からの復活～

■日時:12月17日(火) ■報告者:(株)イーガーデン近藤 近藤邦宜氏
■会場:ローズコム ■参加者数:57名



北村自動車(株)
北村太郎(B)

2024年12月17日(火)18時30分よりローズコム大会議室で開催した12月例会では、あの看板の男が語る「娘婿から養子縁組、3代目社長へ」大量退職からの復活」をテーマに、(株)イーガーデン近藤の近藤邦宜さんが発表されました。

就任当初、社員的大量退職による廃業寸前の危機からの復活劇を熱く語り、当日は看板で自らを広告塔として活用する取り組みや、再生回数300万回を超える動画制作の裏話も共有され、近藤さんのすごさがわかる内容でした。

「社員が辞めないためにどんな努力をしていますか？」をテーマにしたグループ討論では、各社の取り組み事例が活発に共有され、参加者の満足度も高いものに。その後の懇親会でも、一人ひとりが感想を述べ、大いに盛り上がりました。

近藤さんの実体験に基づく内容に多くの参加者が学びを得て、意欲を高める貴重な機会となりました。

楽しく学び！ そして自社で実践しよう！

■日時:12月18日(水) ■報告者:(有)広島金具製作所 水ノ上貴史氏
■会場:市民参画センター ■参加者数:23名



ラックス建設(株)
猪岡満治(D)

地区会だより

D地区会

D地区12月度例会は、18日に市民参画センターにて行われました。

今回はF地区 (有)広島金具製作所 水ノ上貴史氏に報告頂きました。御自身と会社の歩みを紹介頂きながら、自社の課題や問題を同友会などからの学びを状況に応じて活かされている事を教わりました。

同友会の入会理由や自社での経営課題などは、人それぞれ違うと思いますが、社長や役員の決意(本気の意識)と行動が最終的には自社の強みに繋がるのだと思います。

まずは行動して、実践し続けて、年をいうごとに幹を大きく、感謝される会社(物づくりに成長させて、自社と自分を成長させる必要性を感じました。

グループ討論の中では、人生かす経営の実践、経営者の覚悟は経営理念を社員と考動して共に成長、社員と面談を定期的に行う目的や思いを伝え、意見を真摯に交換されている会社もありました。

同友会の例会や委員会を含めた活動で経営指針の成文化や10年ビジョンの作成など自分や自社にあった取組を繰り返し考え、行動したいと思っています。

今回は自分に多くの気づきを頂いた例会でした。
ありがとうございました。

忘年例会

■日時:12月9日(月) ■報告者:E地区役員
■会場:ウェディングパルコ アルジェント ■参加者数:25名



12月E地区例会は普段の会場とは違い、結婚式のアルジェントさんでの忘年例会となりました。忘年例会といっても単なる打ち上げではなく、E地区の今年の振り返りをしつつ、来年の地区会の発展に力を合わせることを再確認する例会でした。E地区は今年から新生役員会として地区会長の石川さん体制となりました。初めに、役員の方々の今年の振り返りと来年の抱負を語っていただきました。今回は、初めて役を引き受ける会員が多かった為、最初のころは不安を感じていましたが、グループ長の皆さんそれぞれ目的を持ってグループ運営を考えられてるなと感じました。

また、今期、発表していただいた方に発表後の会社や本人の状況の変化について発表していただきました。発表後自社の問題を解決して会社がよい方向に軌道修正しているという内容だったのもとても安心しました。最後に参加者全員で集合写真撮りました。E地区はどのメンバーもいい人で仲間の問題を親身になって考える最高の地区だと思えました！2025年も盛り上げていきたいと思えます！何卒宜しくお願いします！



(有)アサヒフィルタサービス
宮崎裕大(E)

F地区だヨ！全員集合

■日時:12月18日(水) ■参加者数:33名
■会場:FOREVER CAFE&OYSTER BAR



F地区12月忘年例会「F地区だヨ！全員集合」が開催されました。会歴が古い会員さんと会歴の新しい会員さんとの親睦を目的にクイズなどを計画し、会場を盛り上げました。まずは新旧親睦歓談の時間。名刺交換から自己紹介とおいしいお酒と料理を楽しみながら会が盛り上がりつつあります。ここでの会話が次の親睦ゲーム「Who are You?」必勝の布石となります。会話が盛り上がったところで、(有)東洋自動車商会の佐藤公泰さんの名司会で新旧会員親睦特別企画クイズ「Who are You?」がスタートです。

このゲームは、会歴の古い会員さんと会歴の新しい会員さんが同じ質問に回答し、同じ答えであればポイントを取得できます。司会の佐藤さんの演出で盛り上がり、またその中で各テーブルでも自然に歓声が大きくなり、大盛況の中でゲームを終えることが出来ました。このゲームの成功には、司会の佐藤さんの「企画、台本の作成、リハーサル」と完璧な準備があったからこそ。普段の業務にも参考にさせていただきたいです。ゲームの後は、再び歓談後、田頭副地区長の総括、1グループの林さんより次回例会の案内へと続き、大盛況のまま閉会となりました。



(株)Moana
小川美香(F)

G地区望年例会 ～追憶～

■日時：12月4日（水） ■報告者：G地区会員
■会場：炉端焼き だるま ■参加者数：25名



ちょっと…真剣に！



わきあいあいと…



久々の再会で



楽しい仲間と



第13,19代 会長 小見山直己 氏
G地区を語る



第16代 会長 近藤慎二 氏
G地区を語る



第17,18代 会長 亀井太雅 氏
G地区を語る



(有)勉強堂
山本裕司(G)

今年のG地区12月例会は、「望年例会 ～追憶～」をテーマに、懇親を深めることを主な目的として開催されました。今年を振り返りつつ、G地区の歴史やこれまでの歩みを共有することで、会員同士の絆を一層深める機会となりました。

例会では、特別企画として歴代地区会長から、当時の活動やエピソードについて話を伺いました。G地区の発展に尽力された先輩方の貴重な体験談や思い出話には、多くの会員が共感し、今後の活動への大きな刺激となりました。G地区の歴史を振り返ることで、これからの方向性についても考える良い機会となりました。

今年は新会員が増加し、G地区の仲間として新たなメンバーが加わったことで、例会全体がより活気に満ちたものとなりました。初参加の会員からも「参加しやすい雰囲気だった」「たくさんのお話を聞けた」との声が聞かれ、G地区の一体感がさらに高まったことを感じる例会となりました。

会場には笑顔があふれ、参加者全員がリラックスしながら親睦を深めることができました。

2025年も新たな挑戦が待っていますが、今年の経験と絆を生かして、さらなる飛躍を目指してまいります。ご参加いただいた皆さん、ありがとうございました！

2024年振り返り忘年例会 ～今年1年を振り返るとともに未来への展望を語り合う～

■日時：12月16日(月) ■参加者数：14名
■会場：モーモーキッチン grill レストラン



(株)ゆうゆ
山本文子(I)

I地区会

地区会だより

福山支部 I地区12月例会は、2024年振り返り忘年例会。今年1年を振り返るとともに未来への展望を語り合うがテーマで充実した楽しい時間を過ごすことができました。

「今年の振り返り」では、それぞれ自分の1年間を改めて見つめ直すきっかけとなりました。特に印象的だったのは、困難な状況でも粘り強く取り組んだ結果を語る声や、新たな挑戦に踏み出した話です。同じ経営者として共感する点が多く、自分自身への刺激となりました。

また、「来年の抱負」を共有する時間では、参加者それぞれが描く未来へのビジョンに触れ、希望に満ちた気持ちになりました。具体的な目標や戦略を聞くことで、自分の計画をより明確にするヒントを得ることができたことは大きな収穫でした。

モーモーキッチンさんでの美味しい料理と尾道の美しい夜景を楽しむながら、普段とは違うリラックスした雰囲気の中で例会ができたのも印象的でした。I地区の仲間と心を通わせることで、関係性の大切さを再確認できました。

今回の例会を通じて得た学びや気づきを来年に活かして、地域に必要なとされる経営者として、さらなる成長を目指していきます。仲間との対話を通じて、経営者としての視点を自分の成長に繋げることだと改めて感じました。今後の経営に対するヒントも得ることができました。お互いに支え合いながら未来を築いていくことを心から楽しみにしています。

J地区12月例会「忘年例会」

■日時：12月13日（金） ■報告者：参加者全員
■会場：ダイニングバーPitBull ■参加者数：21名



忘年例会

■日時：12月18日（水） ■参加者数：18名
■会場：Sound and ステーキ禄



KAMILABO ASVII
中村晴美(K)

地区会だより

J地区会

今月のJ地区例会は忘年例会で、来年に向けて大きな夢を語ろうということで、1年の反省と、来年に向けた夢を語る場となりました。

反省点として出たのは、小組によって人の集まりに差がある事です。原因としては連絡網がきちんとしてきておらず決まった人しか参加しない、LINEグループに入っていないも発言をしない人がいるなどです。

対策としては、小組長が個人に連絡を取って参加を促す、小組会の議題を明確にする、例会の内容に参加しやすい内容にするなどの意見が出ました。

私は会歴も浅く勉強不足な為、難しい内容は理解ができません。例年よりも内容を引き付けようという内容、わかりやすい内容にすることで参加者も増えると思います。

最後に私個人の1年の反省となりますが、それは例会、小組会への参加が少なかったことです。来年はもっと積極的に参加していきたいと思っています。今年も1年ありがとうございました。

STRAHL
山本一恵(J)

地区会だより

K地区会

2024年のしめくくり1年間の振り返りと2025年の抱負を1人1人報告しました。この1年間K地区では『ぶれない経営』をテーマに学んできました。其々業種は違えど、やはりお客様に喜んでいただく事、信頼していただく事、ピーターに繋がる事が一番大切な事だと日々の営業を通して常に実感しています。

同友会に入会させていただき1年経ち、経営指針や中期ビジョン、目標、戦略等K地区で話し合い、発表させていただく機会やアドバイスいただき自分自身とても成長出来た事、皆様とご縁をいただき沢山の出会いや学びに感謝しています。同友会での学びから自身のサロンワークでの集客や接客面等改善すべき点も見つかり、これらを課題に取り組みでいきたいと考えています。この1年で得た経験を活かし、さらに成長できるように精進し2025年もK地区を盛り上げていきたいです。

人材のスペシャリスト 吉牟田猛の想い

■日時:12月19日(木)
■会場:ローズコム

■報告者:(株)ジョブチェンジ 吉牟田 猛 氏
■参加者数:20名



P地区12月例会は『人材のスペシャリスト 吉牟田猛の想い』と題し、(株)ジョブチェンジの吉牟田猛氏に体験発表をして頂きました。吉牟田氏は福山市を中心とした総合人材サービスを提供されており、人材派遣・人材紹介・人事コンサル・シェアするSNS広報部を展開しながらYouTube・Instagram・tiktokの活動を行われています。

体験発表では吉牟田氏のこれまでの経験と想いをもとに、「人材」に関わる業界の現状を踏まえた、(株)ジョブチェンジの今後の課題と各社における「人材獲得」にこれから必要な課題を話して頂きました。吉牟田氏の人となりが分かる話と共に、これからは企業側の立場としての考え方だけではなく、求職者側の目線での考えを踏まえた「人材獲得」をしていかなければならないこと、その手法がSNSを用いた手法に代わってきていると言った内容を話して頂きました。



日栄産資(株) 岡崎徹也(P)

グループ討論では『自社の魅力を理解していますか?それを人材に活かしていますか?』をテーマに、自社の現状の採用状況は?自社の魅力をちゃんと理解できているか?雇用の面で活用出来ているか?といった角度から各社の採用状況(自社の魅力発信を含め)を聞き、これからの時代自社にとってどのような取り組みが必要かを議論しました。自社の強みはよく考えるが魅力に関しあまり考えたことがなかったや、会社の魅力をちゃんと発信できておらず、会社の魅力と社員がマッチできていなかったなど、様々な意見が出ました。各社の課題の共通項として感じた事が「魅力」を相手に伝えることは重要であるが、それは一方通行ではなく相手が望んでいるものであるか。また「魅力」に対してお客様も社員も満足して、自社の社員がその魅力を一番に伝えられることが出来れば理想であり、それが出来れば「人材獲得」においてのミスマッチもなく、定着・人材育成に繋がると言った考えでありました。

吉牟田さん、体験発表お疲れ様でした。人材獲得における自社の魅力について改めて考える例会となりました。ありがとうございました。

自社成長・自己成長のために飛び込んだ同友会 ～新たな目標に向けて～

■日時:12月18日(水)
■会場:ジーバックホール

■報告者:follow(株) 妹尾直道氏
■参加者数:32名



S地区の12月例会では、follow(株) 妹尾氏による報告でした。テーマは「自社成長・自己成長のために飛び込んだ同友会 新たな目標に向けて」。

妹尾氏の会社は、起業して3年目です。鍼灸師か調理師と迷った末、鍼灸師の道に進み数年の実務経験を積み、そこで出会った同僚と2人でfollowを設立!『多くの子どもの可能性に投資ができる企業づくり』を目標に、よしやってみようぞとスタートした1期目は、構想していた思いとは違い、うまくいきませんでした。赤字経営とさらに一緒に始めた仲間との離脱でした。2期目も赤字にならなかったものの、売上ばかりに気を取られ目標を見失っていきま



タカハシサツシ 高橋洋二(S)

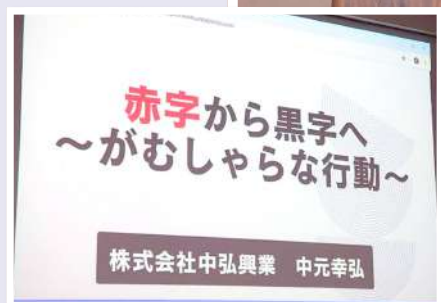


赤字からの脱却 ～がむしゃらな行動～

青年部だより

■日時:12月2日(月)
■会場:県民文化センターふくやま

■報告者:(株)中弘興業 中元幸弘氏
■参加者数: 名



(株)中弘興業の中元氏は父の死を機に家業を継ぎ、赤字経営や資金不足、一社依存などの課題を抱えていた。社員との関係性の希薄さや信頼の欠如が大きな壁となり、唯一頼れる部長の横領も発覚。疑心暗鬼に陥った中、2013年に同友会青年部へ入会するも幽霊

しかし、先輩経営者の助言を受け、青年部活動に積極的に参加し始める。厳しい指摘や学びを糧に、銀行融資の見直しや単価交渉、車両入替、販管費削減などを実施。社員との絆を深める努力を重ねる中、優秀な社員が入社し、売上収益が改善。言い訳せず、全力で行動し続ける重要性を実感した。

(株)POST
山中友貴(S)

女性部12月忘年例会

女性部だより



■日時:12月20日(金)
■会場:焼き肉屋ジャーニー

■参加者数:16名



今年の女性部忘年例会は、普段参加できない方々にもご出席いただき、有意義な時間を過ごすことができた。参加者一人一人の挨拶では、今年一年の自身の成長や会社での進展などを共有し、互いに刺激を与え合うことができた。その中で、各々がどのように成長し、乗り越えてきたのかを聞き、改めて女性部の絆を深めることができたと感じています。

今後の活動の中で、個々の成長を促しながら、組織全体としてもさらなる進化を目指していきたいと思っています。そのためには、これからも皆さんと力を合わせていくことが大切だと再認識しています。今年一年を振り返ると、様々な挑戦や学びがありました。特に女性部の活動を通じて多くの素晴らしい仲間たちと出会い、支え合ってきたことが何よりの宝物です。このような環境で活動できることに感謝し、来年もさらなる成長を目指して邁進していきたいと思えます。引き続き、皆さんとともに充実した活動が続けていけることを楽しみにしています。



ホリスティックブレイン学院(株)
藤原留衣(B)



経営労働 委員会

経営基礎講座第2講10年ビジョン編

■日時:12月5日(木)
■会場:事務局・Zoom・サテライト

■講師:(株)デイ・ディライト 藤原克明氏
■参加者数:42名



二見義和行政書士事務所
二見義和(P)

経営基礎講座第2講は10年ビジョン編「描こう!自社の10年ビジョン」として(株)デイ・ディライトの藤原氏より趣旨説明、事例報告をいただきました。

ビジョンとは、「経営理念を追求していく過程における自社の理想的な未来像を具体的に書きあらわしたもので、なぜ10年なのかはFAXからメールに代わってきたように今まで当然のこととされてきたことが変化する期間だということでした。

10年ビジョンを策定していくには1.こんな会社になりたい、こんな仕事をしていたい2.こんな経営者になりたい3.社員と働く姿やこんな社風をつくりたい4.取引先や地域社会とこんな関係でありたいという大きく4つの事柄を考えていくことから始まります。それぞれ現状とのギャップが解決すべき課題となります。

講師の説明の後はグループ討議でした。

宿題の10年ビジョン検討シートを基にそれぞれがビジョンの説明をしていきそれに質問やアドバイスをしていきました。

こんな会社にしていくとある程度具体的なビジョンを描けている人にはより社員や地域との関係など具体的にどうしていくか質問が出てくる。方どんな会社にしていくかという人に対しては講義の説明を踏まえ現状を聞いてその上でどうしたらよいかをアドバイスしていききました。

10年後どんな会社になっているかというところなので社員の意見を聞いてみてほしいのではと思いました。

すっかり10年ビジョンを考えて「見えない10年先」「ワクワクする楽しい10年先」にしていきましょう。

経営労働 委員会

経営基礎講座第3講 企業変革支援プログラムVer.2講座

■日時:12月27日(金)
■会場:事務局・Zoom・サテライト

■講師:(株)デイ・ディライト 藤原克明氏 (株)EVENTOS 川中英章氏
■参加者数:約60名



日山塗装(株)
日山千代(S)

今年最後の経営指針基礎講座は企業変革支援プログラムバージョン2講座でした。(株)デイ・ディライトの藤原氏の解説をオンラインで見てもそれぞれがエンタリー自己診断シートを入力をしました。各項目に自社の点数を付けました。

現状に向き合ってみて点数の少ない所が課題とわかりました。今までやったことがある人は「前より2点良くなった、自社の課題を常に意識して行動していた」と言われていました。逆に前より点数下がったと言われる人もいました。企業変革支援プログラムバージョン2のテキストには20通り以上のプログラムがあるそうです。「自社の課題解決に向けて一つでも行動できたら何か変わってくる」と言われまして、これからはエンタリーシートを活用していくかと思いました。

S地区サテライト会場のグループ討議では「自社の課題」について討論しました。プログラム5番の「企業の社会的責任について」を「全然考えられない、まず自分の会社が良くないことが一番なのではないか?」と言われ私もそう思いました。社会に求められたら協力したいが自ら行動するのは難しいなと思いました。服のメーカーさんは「地域の方が廃材を欲しいと言われていたのでは?」とあげましたと言われていました。そういうのも地域貢献だと思いました。「自社のSDGsの項目に何関わっていないか?その視点で見ると何か見えてくるかも」とアドバイスを頂きました。

「同友会に入っている事も地域を良くしようという団体なので地域貢献になっていますよ」と言われ自分は気づいていなかったけど地域貢献してるんだと気づかせてもらい少し自信になりました。

バリアフリー 委員会

どうするギャンブル依存症

■日時：12月11日(水)
■会場：事務局・Zoom

■講師：ギャンブル依存症を考える会 代表 田中紀子 氏
■参加者数：30名



(株)三倉屋
鹿嶋保彰(D)

ギャンブル依存症。今を時めくスーパー大谷翔平選手の通訳であった水原一平氏の件で聞いたことがある方も多いかと思いますが、ギャンブル依存症って？その本質までは分かっていません。今回、ギャンブル依存症を考える会代表の田中紀子氏をお招きしご講演いただきました。ギャンブルのオンライン化や若年化など普通に生活しているとわからない現状や、依存症は心の病気で様々な背景が起因していること、本人が家族を巻き込んでいくケースや犯罪につながるケースなど講演をお聞きしギャンブル依存症の本質の部分が少しわかったのと同時に実際に自分や周りの方がなる可能性がある怖さ、身近さを感じさせられました。

講演を終え田中氏に盛大な拍手が送られた後、グループに分かれてグループ討論を行いました。講演の感想や、実際に自社の社員の中にもギャンブル依存症までではないが社長にお金を借りて返さない社員がいるけどどうしたら良いか？など講師の田中氏も討論にご参加くださり、各グループで活発な意見交換を行って、参加者へ少し考えるきっかけを与えた良い会になりました。今回の講演で、すべて学べたわけではないと思います。ギャンブルだけでなく、様々な依存症がこの世の中に存在しています。新入社員や既存社員が依存症に陥る可能性が十分あるこの世の中で、事象が起こった際に何か一つでも当事者を助ける事が出来るよう学びを深めていく必要があると感じさせられました。

環境経営 委員会

SDGsカードゲーム

■日時：12月13日(金)
■会場：ローズコム

■講師：あいおいニッセイ同和損保(株) 広島支店地域戦略室長 繁 雅浩氏
広島支店福山支社長 成澤通泰 氏
■参加者数：29名



(有)ハローホーム
豊田隆宏(K)

今回は、委員以外の方からも広く参加を募り、SDGsを楽しく学び理解してもらおうとカードゲームを開催しました。このカードゲームはあいおいニッセイ同和損保様のオリジナルのもので、進行から運営まで同社様にすべてご尽力頂きました。ゲームは製造業、建築業、小売業、金融業など10の業種別グループに分かれて進めます。各社の事業目的に沿って、リソースと資金をうまく組み合わせながらミッションを達成していきます。その際には、他社と交渉してリソースを交換したり、融資を受けたりと戦略が必要になります。ゲームのスタート時は要領がわからず戸惑いもありましたが、中盤からはコツがわかってきて次第にみんなヒートアップして経営者魂に火が着いたようでした。

終盤では、自社だけがひとり勝ちしようとしても大きなミッションである環境や社会を良くすることに貢献できないことに気付かされます。つまり自社のリソースや資金を出し惜しみしていたことにハッとしました。皆さん、自身の事業とは違う業種での経営を通じて楽しく学ぶことが出来たようです。また、メンバー同士意見を出し合いながら協力して進めますので絆も深まり、大変よく出来ているゲームでした。その後の懇親会でも振り返りをしながら楽しく意見交換できました。もう一度ゲームに挑戦したい、自地区でも開催する等の嬉しい声も上がっていました。最後に、あいおいニッセイ同和損保の皆様 大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

福山支部青年部会 40周年記念行事

～「感謝」の思いを未来へ～

私たち福山支部青年部会は今、設立40周年という大きな節目を迎えました。この長い歴史を築いてこられたのは、何よりも本会の皆様のご理解と支え、そして歴代の青年部の先輩方が積み上げてくださった確かな土台があるからです。40年の間、先輩方は時に熱く議論し、厳しい意見を交わしながらも、お互いを高め合い、青年部会を発展させてくださいました。その努力があったからこそ、今の私たちがこうして活動を続けられているのだと、心からの「感謝」の思いを抱いています。

私たち現役メンバーにとって、この40周年は過去を振り返るだけでなく、未来を見据える大切な機会です。青年部活動は、単に学び合う場ではありません。他社の悩みや課題を共有し、それを共に乗り越えることで、自社の経営革新や成長にもつながる貴重な場です。

これからの私たちに求められるのは、「感謝」の気持ちを行動に移し、青年部をさらに活発化させることです。仲間や先輩との繋がりを深め、率直に意見を交わし合うことで、各自が自社の課題に真摯に向き合い、より良い企業づくりを目指します。それが私たちにできる「恩返し」だと考えています。

福山支部青年部会では、「温故知新」というビジョンを掲げています。先人の知恵や経験を大切にしながら、現代の経営課題に向かい、次世代へとバトンをつなげる活動を進めています。この40周年記念行事を通して、「感謝」の重み、「繋がり」の大切さ、そして「未来」への決意を新たにしました。

これからも、青年部会は地域の経営者が共に学び合い、高め合う場として、さらに発展してまいります。皆様と手を取り合い、次の50年、そしてその先の未来へ向けて歩みを進めていきたいと思っています。

最後になりますが、これまで私たちが支えてくださったすべての皆様に、心より感謝申し上げます。今後とも福山支部青年部会をどうぞよろしく願います。

福山支部青年部会
40周年記念行事実行委員会
実行委員長 占部篤彦

支部理事会報告

第8回 福山支部理事会 報告

2024年12月25日（出席者 28/32）

●「企業変革支援プログラムver2を回答してみよう」 解説：高山経営労働委員長
・今月は討議事項に代わり、企業変革支援プログラム ver2の回答を行いました。高山委員長の解説後に参加者全員で回答を行いました。

●まとめ[高山経営労働委員長]
・企業変革支援プログラムは、e.doyuから回答が可能です。冊子「企業変革支援プログラム」では、回答結果を緊急性や重要性で判断し、どこから取り組めばいいかがわかります。全部を一度に取り組むのではなく、何に絞って取り組むのか、経営指針に落とし込んでいくかを考えることができます。
・企業変革支援プログラムを毎年継続して回答することで、自社の変化を確認することができます。ぜひ継続して取り組んでみてください。

■報告・連絡
●専門・委員会
①組織委員会
・2/7(金)にローズコムで新会員オリエンテーションを開催します。報告者はS地区の(株)川瀬工具店の油藤氏です。未受講の方のご参加をお願いします。

②広報委員会
・BATPOSTはデジタル化後、60名しかダウンロードしていないことがわかりました。もっと読んでもらうために、企業訪問なども行いたいと思います。地区でも周知をお願いします。

③経営労働委員会
・今年度も経営指針の成文化調査を行います。各地区で回答に協力いただくよう、地区会長の皆さんはリードをお願いします。

④求人社員教育委員会
・来年4/1(火)に合同入社式、4/2(水)～3(木)新入社員研修を開催します。なかなか採用が厳しい状況が続いていますが、地区で採用予定の情報がありませんとお声がけください。

⑤政策委員会
・1月から県政策委員会のアンケートがスタートします。回答を重ねることに回答率が上がっています。今回の福山支部は60%の回答率をめざしています。来月の支部理事会は締切の数日前です。理事会の日は達成できているよう、ご協力をお願いします。

●地区会・部会
※今月の報告はありませんでした。

■県関係の報告
①県理事会の報告
・京都橋大学の小山准教授に情勢分析のお話をいただきました。今後、ますます不確実性、不透明性が進むと予想され、見通しとしては厳しい報告内容でした。世界の平和が脅かされている状況で、サプライチェーンの末端まで影響すると言われています。
・皆さんが普段使われるデジタル関連の商品、パソコン、検索サイト、ITツール、SNSはほぼ海外製という状況で、日本はスマホだけで2.2兆円を輸入しています。いろんな状況を逆手に私たちは何に手を打っていくのか意識していく必要を感じました。
・同友会の後援の進め方について確認がありました。経緯は私が備北支部のあるNPOの式典に呼ばれたことでした。その後、県理事会で問題提起を行い、今回の説明に至りました。
・全研in愛媛のお知らせと参加状況の報告がありました。私もすでに申し込みました。ぜひ一緒に参加しましょう。

■その他の報告
①議案委員会と役員選考委員会の設置

・次年度が役員改選、議案改定の時期に当たらないため、例年通り、議案委員会を別途立ち上げず、支部理事会で中間総括を行いたいと思います。議案は正副支部長会議で事前に整理し、支部理事会で総括をお願いいたします。
・来年度は青年部会長の交代の年にあたります。田中総務委員長、内海企画委員長、高山経営労働委員長、二見P地区会長、吉田F地区会長の5名に役員選考委員をお願いします。

②ビジョン委員会の報告
・来期の福山支部の中期ビジョンは、県のビジョンに合わせて企業づくり、同友会づくり、地域づくりを柱に検討を進めています。
・5年後の福山支部の姿、ご意見があればお寄せください。数値目標については関係が深い組織に相談します。

③支部活動費の執行状況
・11月末で執行の目安66.7%に対し、58.9%の執行状況です。すでに執行が済んでいるものは、100%に近い執行率になっています。
・一部、低い執行率の低い委員会があります。支部例会などはこれから大きな支出がある見込みです。青年部はZoomのアカウント使用料をお支払いいただいたため、100%の執行率に戻りました。全体的に特に大きな問題はありませぬ。

※委員会の予算請求について
・各委員会は2/10(月)までに次年度の予算請求を提出してください。地区会、部会は計算式に基づいて活動費を執行するので、予算請求は不要です。予算は総務委員会で検討していきます。

【承認事項】
①入退会の承認
■入会希望者(2名)
まるまるデザイン 藤原寿子(A)
事業概要 DPT、webデザイン、HP制作、LINE構築

ダイナツーリスト(株) 代表取締役 横澤淳子(B)
事業概要 旅行業(国内、海外)、通訳ガイド

■退会希望者(2名)
(株)共栄店舗 専務取締役 池尻範生(F)
FOMIL(株) 代表取締役 小野竜也(B)

以上、承認されました。
これにより福山支部の会員数は658名となりました。

【中締め】[掛川副支部長]
・本日は年内最後の支部理事会でした。企業変革支援PGの回答をしてみました。とて面白い教科書だと思いました。年末年始のお時間のある時に見ていただきたいと思います。
・年を重ねることに1年が経つ速さを実感しています。ジャンナーの法則では、50代の人は1年が約5カ月に感じるそうです。私も家族と10大事件を話してみましたが、なかなか10個も思い浮かびません。何か新しいことに挑戦する大切な感じました。
・1月の新春講演会には、たくさんのおブザーを誘ってご参加ください。来年が皆さんにとって佳一年になるよう願っています。今年1年間、ありがとうございました。

※支部理事会終了後、有志で忘年会を開催しました。

(文責 事務局 本田)

新会員紹介

中小企業同友会福山支部



自己紹介

株式会社青電設の徳永治夢(とくなが さだむ)と申します。地元の盈進高校を卒業後、建築業の会社に4年間勤務し、現場監督としての経験を積みました。その後、独立を決意し起業しました。それから約12年が経ち、新たに電気事業に興味を持ち、この度、株式会社青電設を設立いたしました。

同友会への参加

私は同友会に入会し、経営について学び、自己成長を目指しています。入会のきっかけは、知人からの勧めでした。会員の方々の経験や考え方に触れ、自分の成長につなげたいと考えています。人とのつながりの大切さを実感し、今後も多くの学びを得ていきたいと思っています。

当面の課題

当社が直面している課題は、『人材の確保』、『人材の育成』、『設備投資』の3つです。経験者・未経験者を問わず将来を担う人材の採用を進め、OJTや資格取得支援を行うことで成長を支援します。さらに、施工の効率化を図るため、必要な設備への投資を進めていきます。



会社名：株式会社 青電設
氏名：徳永治夢 (E 地区)

会社概要

- 設立日：2024年5月29日
- 資本金：500万円
- 従業員数：6名

事業内容

- 住宅、工場、店舗の電気配線工事
- 太陽光発電の設置および配線工事
- リフォーム工事

施工事例

- 新築住宅の配線工事
- 店舗改装工事
- 太陽光発電システムの設置工事
- アパートの改装工事
- 電気の引き込み工事